



(写真上) フィリピン・アマンプロにて娘と一緒に。
(写真右・上から) 箱根・強羅花壇にて両親と一緒に、フィリピン・アマンプロ、
セイシェル、フランス・キャップデフェレ。

私の思い出はいつも青い海と

心も身体も海にあずけると お腹の底から笑顔があふれる

ポピンズコーポレーションは、来年で会社設立20年目を迎える。

TVのアナウンサーを辞め、お膳立てされた仕事から、自分で考え、実行し、責任を取る覚悟は、いつから芽生えていたのだろう。父は公務員、母は専業主婦というごく普通の家庭に育った。しかし、父の一高・東大卒が、小学校の頃から何か特別な意味があるように感じていた。何かを聞くと、国会図書館に行くことを示唆するなど、驚かされた。両親は、私の転身に心配しながらも、常に応援してくれた。保育と高齢者在宅ケアは、利用者へのサービスを増やそうと思えば思うほど国の規制とぶつかる。何度も悔しい思い

をしたが、保育業界のヤマト運輸ですね！などと言われると内心嬉しかった。怖がりの経営は、今まで一度も赤字決算がない。お客様は、口コミと紹介が多く、テレビや新聞の取材のおかげで、広告宣伝費もゼロとありがたい。

今年は、思い切って会社のスペースの3分の1を研修室に充てた。人づくりが私の任務である。しかし、中途採用者が増え、



中村 紀子

ポピンズコーポレーション
代表取締役

仕事が増えると、人事クライシスも起こる。そんな時こそ、自分の体調や精神を健全に自己管理しなければいけない。

実は、私には楽しい息抜き法がある。というより、そのために仕事をしていると言っても過言ではない。海外の美しい海でのんびり過ごす。プールサイドでは、冷えたシャンペンにアロマの香りのマッサージ、読書三昧……。コルドンブルーの透き通る海を眺め、魚たちと戯れるシュノーケリングで半日が過ぎる。大物釣りのトロリングもいい。人のいない海に体を浮かせてつぶやく。あーあ、ごくらく、ごくらく……するとますます体中がとろけてきて、お腹の底から笑顔があふれてくる。昨年、大好きな母が亡くなった時もアマンプロの海が、癒してくれた。海に向かって母の名を呼んだ時、白いちょうちょうが、突然目の前に飛んできた。

私の思い出の写真には、いつもそこに海がある。

私の思い出写真館